

# 接種記録に誤り16万件

## さらに500万件 確認が必要

新型コロナワクチンの接種状況を一元管理するため、国が導入した「ワクチン接種記録システム」(VRS)に誤データが含まれている問題で、デジタル庁は10日、約1億件のうち0・16%にあたる約16万件で誤りがあると明らかにした。さらに、間違っているかどうか確認が必要なデータは500万件弱に上るという。

VRSには、接種日やワクチン名など個人の接種記録が蓄積されているが、接

種会場の担当者らが入力する際にミスが続発。データは3回目接種の接種券送付やデジ庁が20日に導入するワクチン接種証明書アプリに利用するため、自治体が修正作業に追われている。

デジ庁は9月下旬、誤りの可能性があるデータを機械的に抽出する機能をVRSに追加。抽出状況を確認したところ、今月3日時点では約16万件の間違いがあった。デジ庁は複数の自治体にヒアリングした結果ど

うして、接種日の誤りなど接種券の送付や接種証明に影響する致命的な間違いは、「少ないと考えられる」としている。一方、複数の自治体による、デジ庁が追加した機能では抽出しきれない誤りがあるという。全件の確認をしている関東地方のある自治体では、修正が必要なデータが2・6%を見つかった。担当者は「デジ庁の数字は少なすぎるのではないか」と指摘している。(中島亮介、文部科学省)